

## **報告事項**

### **第 1 回協議会における意見への対応状況について**

第1回協議会における各委員からの意見に対する取組の方向性について各委員へ会議後に通知したが、その後の対応状況は次のとおり。

議 事	意 見	取組の方向性（通知済）	その後の対応状況
(1) 協議 地域医療再生 計画事業検討 部会の設置に ついて	ア 事業検討部会の検討内容について、協議会へ報告するだけでは不十分。	事業検討部会の検討内容は、協議会へ報告のうえ承認を得ることとし、部会設置要領にこの旨規定する。	左のとおり要領に規定済み
	イ 事業検討部会の委員構成案に偏りがある。	部会のメンバーに、地域周産期母子医療センターを加えることを検討する。	本日の協議事項として協議
(2) 報告 ア 周産期医療 対策事業の実 施状況につい て イ 地域医療再 生計画事業の 実施状況につ いて	ア 医療機器やシステムの導入に当たっては、医師等現場での利用者の意見を聴き、十分調整しながら行うこと。	今後は、導入先医療機関との連絡調整を十分に行うよう配慮するとともに、協議会委員へ情報提供する。	同左
	イ 超音波診断装置について、モデル事業を実施している 5 医療機関以外への導入を急ぐべき。	事業検討部会において今後検討する。	事業検討部会での検討を経て、本日の協議事項として協議
	ウ いーはと一ぶの有効活用に向けた対応、啓発を行うこと。	県関係課（児童家庭課）及び県産婦人科医会と連携し、市町村・医療機関に対する啓発活動を行う。	産婦人科医会においていーはと一ぶ普及啓発委員会を設置予定、県担当室課も参画
	エ 周産期母子医療センター運営事業補助の病院別明細を示せ。		別紙のとおり

## 【別紙】周産期母子医療センター運営費補助金について

### 1 対象経費

周産期母子医療センターの運営に要する給与費、材料費等（詳細は次頁のとおり）

### 2 補助額

補助基準額と経費実支出額のうち少ない方の額から、診療収入額その他の収入額を控除した額に、3分の2を乗じた額（負担割合：国 3分の1、県 3分の1）

### 3 センター別交付状況（平成 24 年度）

区分	病院名	補助額（円）	摘要（カッコ内の数字は 24 年度申請病床数）
総合周産期母子医療センター	岩手医科大学附属病院	87,431,000	【運営費】MFICU(9)、NICU(21)、GCU(16) 【加算】母体救命強化、臨床心理技術者配置
地域周産期母子医療センター	盛岡赤十字病院	11,551,000	【運営費】NICU(2) 【加算】麻酔科医配置
	北上済生会病院	17,882,000	【運営費】NICU(4)
	岩手県立中央病院	14,745,000	【運営費】NICU(5) 【加算】麻酔科医配置
	岩手県立大船渡病院	13,712,000	【運営費】NICU(4) 【加算】麻酔科医配置
	岩手県立磐井病院	6,568,000	【運営費】NICU(2) 【加算】麻酔科医配置
	岩手県立久慈病院	2,790,000	【運営費】NICU(1)
	岩手県立中部病院	7,224,000	【運営費】NICU(2) 【加算】麻酔科医配置、臨床心理技術者配置
	岩手県立二戸病院	9,164,000	【運営費】NICU(3) 【加算】麻酔科医配置
合 計		171,067,000	

## 周産期母子医療センター運営事業に係る補助基準額等一覧

種目	基準額	対象経費
総合周産期母子医療センター	<p>次の(1)及び(2)により算出された額の合計額とする。</p> <p>(1) 1 か所につき、該当する次の①から③により算出された額とする。(ただし、黒字の部門は算出対象から除く)</p> <p>①MFICU 運営費  (ア) 特別交付税措置の対象となる公立病院の場合 (略)  (イ) (ア)以外の民間病院等 <math>5,883 \text{ 千円} \times \text{病床数} \times \text{事業月数} / 12</math></p> <p>②NICU 運営費  特別交付税措置の対象とならない民間病院等 <math>3,423 \text{ 千円} \times \text{病床数} \times \text{事業月数} / 12</math></p> <p>③GCU 運営費  特別交付税措置の対象とならない民間病院等 <math>1,585 \text{ 千円} \times \text{病床数} \times \text{事業月数} / 12</math></p> <p>(2) 搬送受入促進事業 1 日につき 1 人当たり 13,570 円</p>	総合周産期母子医療センター運営事業に必要な報酬、給料、賃金、職員手当等、共済費、旅費、需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費)、役務費(通信運搬費)、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、減価償却費、資産消耗費
地域周産期母子医療センター	<p>次の(1)及び(2)により算出された額の合計額とする。</p> <p>(1) 1 か所につき、該当する次の①から③により算出された額とする。(ただし、黒字の部門は算出対象から除く)</p> <p>①MFICU 運営費 (略)</p> <p>②NICU 運営費  (ア) 特別交付税措置の対象となる公立病院の場合 <math>5,472 \text{ 千円} \times \text{病床数} \times \text{事業月数} / 12</math>  (イ) (ア)以外の民間病院の場合 <math>8,766 \text{ 千円} \times \text{病床数} \times \text{事業月数} / 12</math></p> <p>③GCU 運営費 (略)</p> <p>(2) 搬送受入促進事業 1 日につき 1 人当たり 13,570 円</p>	地域周産期母子医療センター運営事業に必要な報酬、給料、賃金、職員手当等、共済費、旅費、需用費(消耗品費、燃料費、食糧費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費)、役務費(通信運搬費)、委託料、使用料及び賃借料、備品購入費、減価償却費、資産消耗費
母体救命強化加算	<p>(3) 母体救命強化加算  産科、小児科(新生児)、麻酔科及び救急医療の関係診療科(脳神経外科、循環器内科、心臓外科等)を有し、救命救急センターを併設し、24 時間患者を受け入れる体制を整える場合 <math>17,917 \text{ 千円} \times \text{事業月数} / 12</math> とする。</p>	関係診療科等との連携に必要な報酬、給料、賃金、職員手当等、共済費

麻酔科医配置加算	(4) 麻酔科医配置加算 麻酔科医を確保する場合 13,101 千円×確保月数/12	麻酔科医の配置に必要な報酬、給料、賃金、職員手当等、共済費、需用費（消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費）
臨床心理技術者配置加算	(5) 臨床心理技術者配置加算 臨床心理技術者を確保する場合 5,964 千円×確保月数/12	臨床心理技術者の配置に必要な報酬、給料、賃金、職員手当等、共済費、需用費（消耗品費、燃料費、食料費、印刷製本費、光熱水費、修繕料、医薬材料費）